

題名	日本産業保健師会 2023年度 第2回研修会
現状の課題 ・ニーズ	<p>日本国内の就業者における女性の割合は、2002年には41.0%であったものが毎年徐々に上昇し、2019年では44.5%までに増加した。現代の日本において、女性が就業していることが当たり前となり、今後さらなる活躍が期待される中で、女性特有の疾患への対応にもようやく目を向けられるようになってきた。</p> <p>経済産業省は「働く女性の健康推進に関する実態調査」を2017年に実施した。その結果、①女性の健康に起因する社会的な問題は十分に認知されていないこと、②女性の健康課題はデリケートな話題を含むこともあり、コミュニケーション窓口等の環境づくりの必要性、③女性の健康課題に対するエビデンスデータの収集や共有ができていないこと、④女性の健康推進をどのような目標を設定し、推進すべきかに対応できていないなどを明らかにしている。また、日本医療政策機構は、「働く女性の健康増進調査2018」を実施した。女性に関するヘルスリテラシーの高さが、①仕事のパフォーマンスの高さとの関連、②望んだ時期に妊娠することや不妊治療の機会を失うことがなかったこととの関連、③女性特有の症状があった時に対処できる割合が高いことを明らかにした。さらに、女性に多い病気のしくみや予防・検診・治療方法、医療機関へ行くべき症状を学ぶニーズが高いことや、企業の健康診断が、定期的な婦人科・産婦人科受診に貢献していることも明らかにした。</p> <p>働く女性の女性特有の疾患を理由とした離職防止、月経困難症、更年期、閉経、高齢期の骨粗鬆症や女性特有のがんなど、女性の生理的変化にとどまらない、性別特有の健康課題への対応が求められる。働き方の多様性、ダイバーシティ、女性活躍推進、健康経営などからも女性の健康支援は欠かせない。</p> <p>保健師は、日ごろの産業保健活動を通して、相談を受けることが多い分野ではないかと考える。そこで、保健師として女性特有の健康課題について、最新の知見、治療法（低用量ピル、利尿剤、抗うつ剤など）、疫学など、専門医につなげる前段階の知識を得て、個別の支援に活かすだけでなく、職場組織の支援についての提案や管理職への理解の促進などが求められる。</p>
企画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 小川真里子氏（医師） 1995年福島県立医科大学卒業、慶応義塾大学産婦人科入局 2007年東京歯科大学市川総合病院産婦人科助教 2015年より同大学准教授、 日本産婦人科学会専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本女性心身医学会認定医 ・開催日程 11月11日（土）13時～14時45分 ・タイトル 「働く女性の健康支援（仮）」 <p>（補足）小川氏は、第59回日本心身医学会総会（2018）では、シンポジウム『総合診療と心療内科の協働』に産婦人科からみた心療内科との協働についてして登壇、女性の健康週間における講演など、臨床医として第一線で活躍しながら、女性の健康課題に対する講演も産婦人科医師の立場で多数行っている。</p> <p>*日本産業衛生学会産業保健看護専門化制度単位認定申請を行う。 9～11月開催分は7月末が申請締切。</p>
目的	<p>働く女性の女性特有の疾患を理由とした離職防止、働き方の多様性、ダイバーシティ、女性活躍推進、健康経営などからも女性の健康支援は欠かせない。保健師として最新の知見、治療法（低用量ピル、利尿剤、抗うつ剤など）、疫学などを学び、専門医につなげる個別の支援、職場組織への支援の提案や管理職への理解促進により、就労女性のヘルスリテラシー向上、セルフケアの促進、パフォーマンスの向上を通じて企業活動に貢献する。</p>

研修のねらい	1. 女性特有の健康課題の最新の知見を得る。 2. 働く女性のさまざまなライフステージにおける女性特有の健康改題への対処方法を学び、産業保健師として適切な相談対応が行える。 3. 働く女性のヘルスリテラシー向上のための健康教育に活かす。 4. 女性が働きやすい環境への職場調整・風土づくりや、管理職への働きかけに活かす。		
研修の特徴	ZOOM と実会場とのハイブリッド開催 ・ハイブリッド開催のため、グループワークは実施せず講演を主とする。		
評価	研修会終了後にアンケートを実施 【評価指標】 ①満足度 ②本研修会に参加しての感想 ③女性の健康課題への理解 ④産業保健師として女性の健康課題について活かしたいと思うこと ⑤今後の研修の要望		
対象	会員・非会員を問わず参加希望の方 先着 100 名		
日程	2023 年 11 月 11 日（土）13：00～14：45（講義：80～90 分） *午前中は、対面による理事会を開催		
会場	東京工科大学 多目的教室 教育：事務局運営 総務：入会希望者対応 役員・他理事：受付等、手伝い全般 配布資料の印刷・配布→事前ダウンロード依頼+10 部くらい （必要時、工科大にて増刷依頼） 参加証明書は後日ダウンロード→スライドに Forms の QR コード投影・入力依頼		
テーマ	「働く女性の健康支援（仮）」		
12:15	会場及び集合		
12:15 ～ 12:40	25 分	実施前準備 講師へオリエンテーション	全員
12:45～		Zoom 開室 研修会開始	司会：村山
13:00 ～ 13:10	10 分	開会の挨拶 講師紹介	挨拶：会長
13:10 ～ 14:20	70 ～ 80 分	講演開始	講師：小川先生
14:20 ～ 14:40	10 分	全体質疑	
14:40 ～ 14:45	5 分	閉会の挨拶： アンケート協力のお願い・呼びかけ *対面・オンライン参加者とも GoogleForm からの入力	副会長 会場：司会 チャット：事務局
14:45 ～ 15:00	15 分	アンケート回収 片付け	事務局
実施後評価	アンケートの実施		